

事業名称	NPO法人心魂プロジェクト ミュージカル公演 in 姫路 ～命と心が響き合う瞬間をあなたに～
団体名・代表者	マザーリーフ 会長 萱原 州平
協働の相手方	姫路市障害福祉課、姫路市教育委員会（育成支援課）

目的	舞台芸術鑑賞を通じて、障がいや病気など様々な困難と向き合う子どもたちやその家族に「生きる力」と「心のつながり」を届けるとともに、将来的には、障がいの有無を問わず、地域の誰もが芸術を楽しみ、感動を共有できる場を創出し、地域における強制社会の実現に寄与することを目的とする。
内容	① 開催日時：2025年9月21日（日）午後1時30分～午後3時30分 ② 会場：イーグレひめじ あいめっせホール ③ 出演者：NPO法人心魂プロジェクトのアーティスト ④ 公演内容：歌・ダンス・映像を融合させたオリジナルミュージカルを上演。 ミュージカルのテーマは「世界旅行」。観客とのインタラクティブな演出を通して、一方通行ではない心の交流を図る。
事業経過	7月上旬：協力団体への声かけ、第1回実行委員会開催、チラシ等作成に関する打ち合わせ（以降、随時実施） 7月中旬：会場使用に関する打合せ、出演者との打ち合わせ（以降、随時実施）、協働各課との打ち合わせ（以降、随時実施） 7月下旬：手話通訳派遣に関する打合せ（以降、随時実施） 8月上旬：参加申込み受付開始 8月下旬：神戸新聞取材、第2回実行委員会開催、チラシ等配布 9月上旬：第3回実行委員会開催 9月中旬：第4回実行委員会開催 9月20日：機材等搬入・会場設営等準備 9月21日：ミュージカル公演開催
事業の効果	「公演中、子どもたちは感じたままにそれぞれの形で感情を表現して思い切り楽しみ、保護者や大人の方々は子どもたちがそれぞれの形で楽しんでいる姿を見て涙を流したり嬉しそうにされている」という姿を目の当たりにして、障がいや病気などと向き合っている子供たちから私たち大人が「生きる力」を与えられました。 会場全体が一体となり、参加者みんなが心を通わせ感動を共有できたことで、「心のつながり」を感じてもらえたと思います。
今後の展望	将来的には、障がいや病気の有無に関係なく、みんなと一緒に楽しみ感動を共有できる、地域における共生社会の場となるようにしていきたいと考えているが、今回の申込み状況等を考慮し、当面は、芸術鑑賞に触れる機会が圧倒的に少ない、障がいや病気など様々な困難と向き合う子どもたちやその家族を対象に継続的に開催していきます。

【実施団体の事業総括・感想等】

車いすやバギーなどの大型移動補助具での参加者が来場しやすいよう、会場内のエレベーターの広さや台数、駐車場の場所等を含め実行委員会で会場を再検討し、急遽会場を変更しました。会場内には、寝転んで観劇できるスペースの設置やおむつ交換用の別室の準備、体調の急変等に備えた看護師の配置など、重症心身障害児者への対応も行い開催しました。

また、参加申込みは想定を上回り、開催日の約3週間前には申込み人数が定員に達し多数のキャンセル待ちが出るなど、障がいや病気などによる身体的な状態などにより一般的な公演等への参加を見送る方も、安心して参加できる環境のあるイベントへの関心の高さがうかがえました。

公演中、子どもたちは感じたままにそれぞれの形で感情を表現して思い切り楽しみ、保護者や大人の方々が子どもたちがそれぞれの形で楽しんでいる姿を見て涙を流したり嬉しそうにされている姿を見て、今回のイベントを開催して本当に良かったと心から感じました。

終演後には「来年もぜひ開催してほしい！」とのお声を多数いただき、残念ながら今回参加できな

かった方も多数おられるので、当面は障がいや病気など様々な困難と向き合うと子どもたちやその家族を対象に継続的に開催し、将来的には、障がいや病気の有無に関係なく、みんなが一緒に楽しみ感動を共有できる、地域における共生社会の場にしていきたいと考えています。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

- ・対象となる子どもたちやその家族が、日常では体験することのできない良質な文化芸術活動に、安心安全な環境下で触れることができる機会を提供したことが、本事業の大きな成果であると感じました。
- ・本事業が継続することにより、今後も、社会参加の機会の確保や充実に繋げていただきたいと思います。
- ・本事業は、障がい等のある子どもにとって非常に有意義な経験を得られる場であるとともに、保護者にとっても気兼ねなく子どもと芸術鑑賞できる場であり、本当に価値のある取組である。こういった事業を通して、障害の有無にかかわらず、誰もが同じ場で感動を共有できる場が広がっていくことを期待したい。